

## 令和3年度 地域活性化活動助成事業

### 国府中学校コミュニティ・スクール活性化事業

#### 1 はじめに

本校は、防府市の中央部に位置する歴史と伝統のある大規模校である。また、保護者や地域から、いつも温かい眼差しで学校を支援していただき、コミュニティ・スクールによる活動は大変盛んであった。

ところが、新型コロナウイルス感染症により、様々な学校教育活動が制限され、本校のコミュニティ・スクールの3機能の内、学校支援活動や地域貢献活動の多くが中止に追い込まれた。

そこで、本事業を有効に活用し、現状でできる範囲の活動を再開し、「地域に愛され、地域ともにある学校」をめざしていきたいと考え取り組んだ。

#### 2 活動の概要

##### (1) 地域清掃ボランティア活動



【国衙公園の清掃】



【鉄道高架下のゴミ拾い】



【玄関にある幟】

2学期の期末テスト終了後、午後2時間を利用して、全校生徒及び教職員で、校区内の清掃ボランティアを実施した。全校をクラス毎に10班編成し、公園や道路沿いにあるゴミ拾いを行った。その際に、生徒会執行部及び美術部が主体となって作成した、本校オリジナルの幟（こくふうず）を持ち回り、本校生徒が地域清掃に取り組んでいることが一目で分かるようにした。

また、幟については玄関及び各門に常設し、本校のマスコットキャラクター（小梅ちゃん）としても、常に生徒の目につくよう工夫している。

## (2) 校内美化活動



コロナ禍のため、学校運営協議会委員による生花を飾る学校支援活動を実施することができなかった。ただ、地域の方から生花を持参いただき、本校の教職員が手分けし、生徒の目につきやすい場所に、生花を飾ることができた。

一輪挿しについては、配付ボックスやトイレ、階段の踊り場等、校舎全体に行き渡るように配慮した。玄

**【玄関にある生花】** 関については、来客の方々の目を引くよう、大型の生花や植物を飾ることを心掛けた。



**【配付ボックス上の一輪挿し】**

## 3 成果

- (1) 地域清掃ボランティア活動では、清掃中に多くの方から励ましの声やお褒めの言葉を多くいただき、生徒の自己肯定感の高まりを感じた。何より、生徒の活動中及び活動終了後の晴れ晴れとした表情が、充実感と満足感を得た成果と考えられる。また、ボランティア活動の準備や当日の運営、役割分担等について、専門委員会を中心に活動することができ、生徒の自治能力向上につながった。
- (2) 校舎内に生花が飾られることにより、潤いのある温かい空間を演出することにつながった。また、生徒の情操教育の面においても、美しいものに感動する心や自然を愛する心を育むことにつながり、本校チャレンジ目標のひとつである「和顔愛語」にもつながっている。

## 4 今後の課題

- (1) コロナ禍の中での実施であったため、全てを学校が中心となり取り組んだ。今後は、学校運営協議会委員が中心となり、コミュニティ・スクールの地域貢献活動に発展し、地域の環境美化に全校で取り組んでいきたい。そのためには、地域連携担当教員や地域学校協働活動推進員を中心に、学校・地域連携カリキュラムの中に組み込むことが重要である。
- (2) 生花を寄附していただくことはできたが、コミュニティ・スクールの学校支援活動に発展できるよう、熟議等をとおして学校運営協議会委員と方策を検討していきたい。